

～『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

★9/26 木『第2回 SAH 講演会』にて

中山芳一先生に再びご来校いただけます！★



2024年の3月7日に『第1回 SAH 講演会』を開催した際に、講演者として中山芳一先生をお招きしました。今後の生活の『ヒント』やたくさんの『刺激』を前南生に与えてくださいました。当時1, 2年生だった生徒も今や本校の中心となる2, 3年生となっています。その2, 3年生の姿を見ていると、私の主観ですが、前南生がこの半年間に飛躍的に成長している実感があります。

それは半年前に中山先生がひとりひとりの生徒の心に『種』をまき、そこから『芽』が出て、そして生徒ひとりひとりが努力し、自分自身の手で大きく『成長』させたのだと感じています。もちろん、学校も生徒を支援し、また、保護者の方々のご家庭からのご支援・ご協力があり、成り立ったものです。この過程のなかで、なにかが欠けていたら結果は違ったものになったはずで

そして、再び中山先生をお招きすることができます。3年生にとっては受験期真っ只中であり、これから重要な時期となる直前に、再び『刺激』を受けることができます。2年生は修学旅行が終われば、本格的に受験期に入ります。これまた、重要な時期です。1年生にとっては、本格的な「非認知能力」の研究者の方からはじめての講演です。「わかっている」ような「わかっていない」ような状態が『クリア』になると思います！これからの高校生活をどのように過ごせばよいか、大きな『ヒント』が手に入るはずで

## 演題：『非認知能力とエージェンシー ～自律した学習者になるために失敗から学ぶ～』

今回の演題ですが、『非認知能力とエージェンシー ～自律した学習者になるために失敗から学ぶ～』としていただきました。『SAH』の中心である『エージェンシー』や『自律した学習者』について、また、『失敗から学ぶ』といった『失敗を前提としたお話』や、『レジリエンス』も含んだ内容の講演となることを期待しています。講演後に『質疑応答』の時間がありますので、聞いてみたいことがありましたら、今から準備してみてもいいでしょうか？活発な質疑に期待します！

また、中山先生の個人的なお話も紹介させていただきます。先生は8月31日をもって岡山大学を退官されました。おそらく、さらに活動の幅を広げるべくして『フリー』となり、自由に活動するというご決断をされたのでしょうか。よって現在の肩書きは『合同会社 ALL HEROs 代表』となります。『全員が HERO』、いい名前です！

まさに『終身雇用』ではない生き方をしているらっしゃるわけです。当然、さまざまな『非認知能力』に特化したおチカラを持っていないとできないことだと感じます。中山先生の目指されていることについてもお話しいただけることと思います。

右にあげたのは、9月13日に発売されたばかりの中山先生の最新書籍です。『非認知能力』についての『マンガでやさしくわかるシリーズ』です。興味のある人はまずは本屋さんで手に取ってみてください！『来年には、さらに生徒さんにドストライクな本も出版予定でーす^\_^ (原文ママ)』というメッセージもいただきました！中山先生の今後の活躍から目が離せません！私たちも今回の貴重な機会を『自分ごと』に活かし、さらに成長していきましょう！（文責：教頭 星野 亨）



★校長より★ 今回は「失敗」について書きます。今年の3月に民間初の小型ロケット「カイロス」初号機が打ち上げられましたが、直後に異常が発生したため爆発させました。このとき、開発を行った宇宙開発ベンチャー企業「スペースワン」の豊田社長は「失敗という言葉は使わない。一つ一つの試みの中に新しいデータ、経験があり、全てが新しい挑戦の糧だ。ステップを明確にしてどこまで進むかを明確にしていきたい。これは会社の文化だ。諦めず前に進む」と強調していました。莫大な開発費用もかかっていますので、「失敗」という言葉を使うべきかどうかは様々な意見があるようですが、今回注目したいのは、「挑戦の糧」になると言っていることです。勉強でも運動でも最短距離で直進して成功にたどり着くということはありません。成功の前に複数回の試行錯誤と失敗が必ずあります。「失敗は挑戦の糧」ということを頭の隅に置きながら中山先生の話聞いてもらえればと思います。校長 原 拓史